【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【公表番号】特表2003-513003(P2003-513003A)
【公表日】平成15年4月8日(2003.4.8)
【出願番号】特願2000-554345(P2000-554345)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　9/127　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/26　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　9/127
Ａ６１Ｋ　47/26

【手続補正書】
【提出日】平成18年6月16日(2006.6.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　試薬の組成物を調製する方法であって、以下の工程、
(ｉ)空のリポソームを形成する工程；
(ii)工程(ｉ)によるリポソームを、糖溶液及び試薬と混合する工程；
(iii)工程(ii)による混合物を乾燥する工程；
を含み、工程(ii)で用いる糖の脂質に対する質量比が、１：１～５：１w/wであることを特徴とする方法。
【請求項２】　さらに、工程(iii)による混合物を再水和する工程を含む請求項１に記載の方法。
【請求項３】　工程(ｉ)で形成されたリポソームが、小さい単層ベシクルである、請求項１又は２に記載の方法。
【請求項４】　前記ベシクルが、25～100nmの平均サイズを有する、請求項３に記載の方法。
【請求項５】　前記ベシクルの平均サイズが、70～90nmである、請求項４に記載の方法。
【請求項６】　工程(ii)で用いる糖溶液の濃度が、20～200mMである、請求項１～５のいずれか１項に記載の方法。
【請求項７】　前記糖溶液の濃度が、30～150mMである、請求項６に記載の方法。
【請求項８】　工程(ii)で用いる糖が、二糖類である、請求項１～７のいずれか１項に記載の方法。
【請求項９】　前記糖が、スクロースである、請求項８に記載の方法。
【請求項１０】　工程(ii)で用いる糖が、単糖類である、請求項１～７のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１１】　前記糖が、グルコースである、請求項１０に記載の方法。
【請求項１２】　工程(iii)が、凍結乾燥によって遂行される、請求項１～１１のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１３】　工程(iii)が、噴霧乾燥によって遂行される、請求項１～１１のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１４】　前記試薬が、生物活性物質である、請求項１～１３のいずれか１項

に記載の方法。

【請求項１５】　前記生物活性物質が、医薬品を含む、請求項１４に記載の方法。